

| アイデア創出までのプロセス

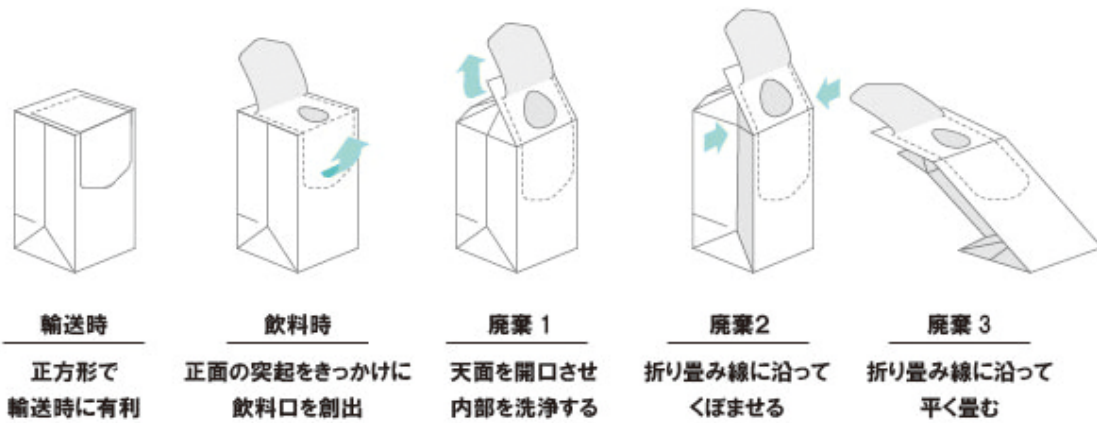


生徒のアイデアや使用の実態についてヒアリングの上、アイデア募集のコンペティションを開催。集められたアイデアの中からいくつかをピックアップの上、都産技研によりリデザインを行った。その後試作品を製作の上、使用感のアンケートを実施、その内容をフィードバックし、修正。今回のアイデア提案に至る。

最終デザイン案



｜ ハーフカット飲み口の飲料容器：手元に届いてから廃棄するまで



容器正面の突起をきっかけに表面をめくりあげることで飲料口が天面に創出される飲料容器
側面から天面にかけて開封時に剥離させた面は、外気に触れていない衛生が担保されている面として、
直接口を付けて飲用することが可能。
飲料後は周囲に施された折り畳み線にそっておる事でコンパクトに廃棄することができる



| ストローレス飲料容器：手元に届いてから廃棄するまで



輸送時
互い違いで
コンパクトに輸送



飲料時 1
正面の蓋を
めくりあげる



飲料時 2
側面の角を
それぞれ開く



飲料時 3
折り線に沿って
正面に開く

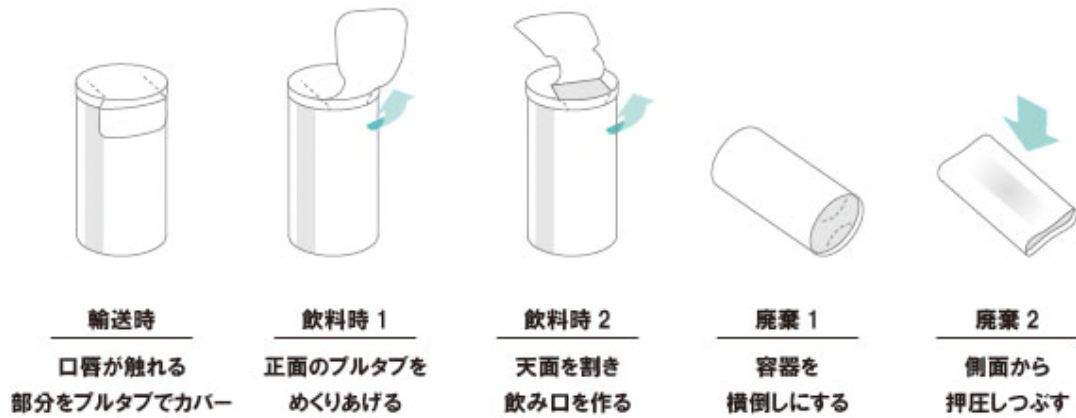


飲料時 4
正面の角をつまみ
飲み口を作る

特長的な形状でも、互い違いにすることで、輸送時はコンパクトにすることができる。
輸送時は正面の蓋部により、口唇をつける部分が覆われており、衛生的である。
正面の折れ線部をつまみ出すことで、飲み口を前にせり出させることが可能で、
飲みやすさを向上できる。



柱型飲料容器：手元に届いてから廃棄するまで



輸送による容器表面の汚れをプルタブ部を巨大化させ、口唇が触れる部分をカバーすることで衛生が担保されている部位を確保、直接口を付けて飲用することが可能。
底面に具備されたハーフカット構造により、側面からの加重で、つぶしやすく設計されており、廃棄時の高をコンパクトにすることが可能。

